

新市まちづくり計画案

- 合併に伴う建設計画 -

がまとまりました



新市のまちづくりの基本方針

新市（鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町及び郡山町の1市5町）においては、市民もまちも元気な都市の実現を目指し、「人とまち個性が輝く 元気都市・かごしま」という都市像のもと、速やかな一体化を図り、新たな魅力と特性を最大限に活用し、住民の福祉の向上とまちの総合的発展を図ります。

この都市像を着実に具体化していくために、5つの基本目標を掲げ、個性豊かで活力に満ちた新市のまちづくりを推進します。

1市5町の基本理念(都市像)

人とまち 個性が輝く 元気都市・かごしま
(鹿児島市)

心豊かで活力にみちたやすらぎのあるまち
(吉田町)

「世界の桜島」元気のでるまちづくり
(桜島町)

自然のゆとりと街の魅力が共存する町
「21世紀のふるさと 喜入」 (喜入町)

ひと・くらし・自然の調和したまち
(松元町)

まちがうるおいに満ちあふれ、
人々がやすらぎを感じる郡山 (郡山町)

新市の都市像

「人とまち 個性が輝く 元気都市・かごしま」

5つの基本目標

【安心健康都市】
安心して健やかに暮らせるまち



【個性創造都市】
豊かな心と個性を育むまち



【快適環境都市】
人と自然にやさしい快適なまち



【交流拠点都市】
機能的で多彩な交流が広がるまち



【産業活力都市】
にぎわいと活力あふれるまち



〔計画期間〕

- ・ 合併施行の日(平成16年11月1日目標)から平成26年度までの概ね10か年

〔合併後の人口と世帯〕

	2000年(H12)		2014年(H26)	
総人口	601,693人		621,000人	
男	281,611人	46.8%	291,000人	46.9%
女	320,082人	53.2%	330,000人	53.1%
0～14歳人口	94,234人	15.7%	89,000人	14.3%
15～64歳人口	407,852人	67.8%	390,000人	62.8%
65歳以上人口	99,597人	16.5%	142,000人	22.9%
世帯数	246,955世帯		272,000世帯	
1世帯当たり平均人員	2.44人		2.28人	

※2000年(H12)の人口は、国勢調査にもとづく1市5町の合計
(総人口、男女の合計人口には、年齢不詳を含む)

※2014年(H26)の人口は、新市の将来人口を推計

〔地域・地区の区分〕

新市を次の地域・地区に区分し、それぞれの特性を生かしたまちづくりを進めていきます。

- ・ 中央地域 (地区：中央、上町、鴨池、城西、武・田上)
- ・ 谷山地域 (地区：谷山北部、谷山)
- ・ 伊敷地域
- ・ 吉野地域
- ・ 桜島地域 (地区：桜島、東桜島)
- ・ 吉田地域
- ・ 喜入地域
- ・ 松元地域
- ・ 郡山地域



合併の効果

<さらに飛躍するまちづくり>

人口60万人を擁する県都として、経済、文化、行政など各面にわたる機能が一層充実され、南九州の中核都市として、さらに飛躍するまちづくりが進みます。

<地域特性を生かしたまちづくり>

1市5町それぞれの地域特性を生かして、集積された高次都市機能と豊かな自然が調和するまちづくりが可能となります。

<広域的なまちづくり>

観光振興、防災対策、道路整備、水資源対策など広域的な視点に立ったまちづくりが推進され、計画的で効果的な行政が推進されます。

< 行政サービスの向上 >

急速な少子高齢化など社会環境の変化に的確に応える専門性の高い行政サービスが持続的に展開されます。

< 地方分権の推進 >

地域のまちづくりを地域自らが進められるよう、専門的能力の高い人材を生かして、自己決定・自己責任の原則に立った真の地方分権が推進されます。

< 行財政基盤の確立 >

国・地方を通じた厳しい財政状況の中で、合併によるスケールメリットを発揮し、質の高い持続的な行政サービスを展開できる行財政基盤が確立されます。

まちづくり計画

計画の推進にあたっては、これまで以上に市政情報の公開・提供に努めるとともに、計画策定や事業実施における市民参画を積極的に進め、市民の市政への参画を促進します。

全市的に取り組む主な事業

【安心健康都市】

- ・急傾斜地崩壊対策事業の促進
- ・河川改修の促進
- ・防犯灯等の整備の促進
- ・民生委員・児童委員活動に対する支援
- ・障害者の社会参加の促進
- ・介護予防・生活支援対策事業の推進
- ・高齢者社会参画促進事業の推進
- ・子育て支援事業の推進
- ・各種検診事業の実施
- ・スポーツ・レクリエーション施設の利用案内・予約システム等によるネットワーク化の推進 など

【個性創造都市】

- ・ 幼稚園施設の整備
- ・ 校舎の大規模改造、増改築
- ・ 屋内運動場の大規模改造、増改築
- ・ 教育用コンピュータの整備
- ・ 冒険ランドいおうじま(仮称)等、青少年教育施設における体験活動の実施
- ・ 生涯学習関連施設のネットワーク化の推進
- ・ 公民館講座の充実
- ・ 図書館・図書室のネットワーク化の推進
- ・ 文化財の保護・活用
- ・ コミュニティ施設整備の促進 など

【快適環境都市】

- ・ 産業廃棄物監視・指導体制の充実
- ・ 公園緑地の整備
- ・ 屋外広告物景観対策の推進
- ・ 市営住宅の建設・建替
- ・ 市営住宅の全面的改善・個別改善
- ・ 市道の新設・改良
- ・ 交通安全施設の整備
- ・ 安全でおいしい水の供給
- ・ 水道施設の整備、拡充
- ・ 小型合併処理浄化槽の設置促進 など

【交流拠点都市】

- ・都市計画の策定
- ・公共用地の未利用地の有効活用
- ・農村地域における生活環境(道路、集会施設等)の整備
- ・都市・農村交流の促進
- ・海を生かした新たな観光・レクリエーションの検討
- ・高規格幹線道路・地域高規格道路の整備促進
- ・国道・県道の整備促進
- ・街路事業の推進
- ・市民情報ネットワークの充実
- ・姉妹都市等、国際・国内交流事業の推進 など

【産業活力都市】

- ・観光地・観光施設の整備
- ・観光ゾーンの整備充実及び観光ルートの形成・整備
- ・グリーンツーリズムの促進
- ・商店街活性化事業の推進
- ・成長産業等の誘致及び創業・ベンチャー企業等の育成支援
- ・地域特産物の販路拡大
- ・農業担い手の育成支援
- ・農業用土地基盤整備の推進
- ・森林整備の推進
- ・栽培漁業の推進 など



中央・谷山・伊敷・吉野地域のまちづくり

第四次鹿児島市総合計画で掲げたそれぞれの地域別計画を基本に、地域の特性を生かしたまちづくりを推進します。

- ・精神障害者保健福祉交流センター(仮称)の建設
- ・高齢者福祉センターの整備
- ・保健センターの整備
- ・夜間急病センター(仮称)の建設
- ・鴨池公園水泳プールの整備
- ・環境学習拠点施設(仮称)の整備
- ・リサイクルハウス(仮称)の整備
- ・鹿児島駅周辺地区都市拠点総合整備事業の推進
- ・谷山駅周辺地区リニューアル整備事業の推進
- ・谷山地区鉄道高架化事業の推進
- ・土地区画整理事業の推進
- ・JR広木駅(仮称)の設置促進
- ・IT交流拠点の整備
- ・中心市街地活性化対策の推進 など

吉田地域のまちづくり

企業誘致や自然環境と調和した生活環境の形成を図るとともに、県の教育施設等や自然・温泉などの地域資源の有効活用を進めます。また、農地や森林の保全・活用及び水源のかん養に努めるとともに、農林業の振興により都市農村交流を推進します。

- ・校舎の増改築(吉田小学校)
- ・市営住宅の建設(大原団地)
- ・保育所の統合・新設
- ・地域特産物の振興(ニガウリ等) など

桜島地域のまちづくり

総合的な防災対策を推進するほか、都心部とのアクセスの整備に努め、都市近郊型農業、漁業の振興等を図ります。またフェリー事業や恵まれた観光資源の活用等により、観光・レクリエーション機能の充実を図り、各種イベントの展開を促進します。

- ・ 防災営農の確立（降灰対策施設の整備）
- ・ 港湾の整備（白浜港、長谷港など）
- ・ フェリー施設等の整備
- ・ 漁港等の整備 など

喜入地域のまちづくり

国道226号等の幹線道路網の整備やJR指宿枕崎線の輸送力の強化を促進し、交通の円滑化を図るほか、市営住宅の整備を進めるなど、良好な生活環境の形成を図ります。また、海を生かした観光・レクリエーション機能の向上や都市近郊型農業の振興などを図ります。

- ・ 市営住宅の建設（ラメール中名団地）
- ・ 衛生処理施設の整備
- ・ 消防庁舎の整備
- ・ 生見海水浴場の整備検討 など

松元地域のまちづくり

住宅地の整備促進などによる生活環境の改善を図るとともに、松元ダムの水を利用した農業の振興、農村地域の環境整備及び森林資源の保全・活用に努め、スポーツ・レクリエーション機能の向上なども図りながら、都市部住民との交流促進に努めます。

- ・ 消防・救急拠点の整備（消防庁舎の整備等）
- ・ 市営住宅の建替（ガーデンヒルズ松陽台）
- ・ 県茶業指導農場跡地の有効活用
- ・ 土地区画整理事業の推進（上谷口） など

郡山地域のまちづくり

中央地区の土地区画整理事業を推進するとともに、幹線道路等の整備促進に努めます。また、森林・温泉・文化財等の地域資源を生かし、スポーツ・レクリエーション機能の充実、都市近郊型農業の振興、森林及び田園環境の保全、水源のかん養などを図ります。

- ・ 消防・救急拠点の整備（消防庁舎の整備等）
- ・ 屋内運動施設の整備
- ・ 土地区画整理事業の推進（郡山中央）
- ・ 地域特産物の振興（ニガウリ等） など

均衡ある地域づくりのための主な事業

- ・ 地域福祉館の整備
- ・ 校区公民館の整備
- ・ 図書館・図書室の整備充実
- ・ 既存集落の活性化のための市営住宅の建設

県が進める事業

この計画においては、広域的な道路整備や港湾整備など、県が事業主体となる事業も盛り込んでいます。

- ・ 地域高規格道路、県道等の整備
（国道328号バイパス道路、南薩縦貫道など）
- ・ 鹿児島港港湾整備事業の推進
- ・ 鹿児島駅周辺地区鉄道高架化事業の推進 など

財 政 計 画

【平成17年度から平成26年度までの10年間の合計】

1 歳 入

(単位：百万円)

区 分	金 額
地方税	853,711
地方譲与税	22,750
利子割交付金	5,418
地方消費税交付金	48,142
ゴルフ場利用税交付金	1,383
特別地方消費税交付金	10
自動車取得税交付金	5,145
地方特例交付金	26,109
地方交付税	394,932
交通安全対策特別交付金	1,592
分担金及び負担金	20,693
使用料	55,501
手数料	11,120
国庫支出金	389,038
国有提供交付金	0
県支出金	54,003
財産収入	8,195
寄附金	23
繰入金	2,888
繰越金	0
諸収入	28,172
地方債	156,055
合 計	2,084,878

2 歳 出

(単位：百万円)

区 分	金 額
人件費	352,055
扶助費	471,856
公債費	247,198
物件費	228,198
維持補修費	35,068
補助費等	98,453
積立金	19,411
繰出金	142,907
投資・出資・貸付金	9,049
普通建設事業費	475,418
災害復旧費	5,267
失業対策費	0
合 計	2,084,878

※端数処理のため、計があわない箇所がある。

財政計画は、新市まちづくり計画に定められた施策を計画的に実施していくため、長期展望に立った財政的裏付けとして、普通会計ベースで策定したものです。

策定にあたっては、新市として、今後も健全に財政運営を行うことを基本に、新市まちづくり計画に盛り込まれた事業の実施や、住民サービスの格差是正を行うことにより、サービス水準の向上を図るとともに、合併に伴うスケールメリットによる経費の節減、国・県の財政支援などを反映させたものです。

推計にあたっては、現行制度を基本とし、過去の実績、今後の経済見通しなどを参考にしました。

- 1 住民負担の格差是正……地方税や保育料など
- 2 住民サービスの格差是正……児童扶養手当、生活保護、コンピュータの整備など
- 3 スケールメリットによる経費の節減……人件費、物件費
- 4 国・県の財政支援
 - ・合併直後の臨時的経費に対する地方交付税措置
 - ・国の合併市町村補助金、県の合併特例交付金
 - ・建設事業などについて充当するための合併特例債の発行
 - ・合併年度とこれに続く10か年度は、合併しなかった場合の普通交付税額を合併市町村に全額保障し、その後5か年の激変緩和措置（合併算定替）

この結果、平成17年度から平成26年度までの10年間ににおいて、健全財政を堅持する中で、新市まちづくり計画に盛り込まれた事業を実施することになります。

公共施設の統合整備

公共施設については、住民生活に急激な変化を来すことのないよう配慮し、地域の特殊性やバランス、財政事情、既存施設の有効活用等を考慮しながら、統合整備を検討していくこととします。

合併スケジュール(案)

